

# 研 修 等 報 告 書

令和 4年 4月 22日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員.....真鍋 陽子.....



下記のとおり研修等を実施したのでその結果を報告します。

## 記

住 所	岡山市北区伊福町2丁目16-9
電 話	086-252-1155
案 件	配慮(支援)が必要な子どもの高校進学についてのアンケート 意見交換 大塚愛岡山県議会議員からのお声かけがあり、同席
期 日	令和 4年 4月 8日(金) 15時から 17時 30分まで
応 対 者	大塚愛 岡山県議会議員 ノートルダム清心女子大学 インクルーシブ教育研究センター 青山新吾
訪問施設	ノートルダム清心女子大学 インクルーシブ教育研究センター
概 要	大塚愛岡山県議会議員から、配慮(支援)が必要な子どもの高校進学についてのアンケートを行いたいため、質問項目などについてアドバイスが欲しいと、昨年ご相談があった。そのアンケートが完成し今年3月末までネット、個別依頼で拡散(真鍋も各種手段で拡散協力)157人から回答が集まったものをインクルーシブ教育研究センター青山新吾センター長、アンケートをまとめる学生2人と分析、意見交換を行った。支援を必要とする児童生徒が高校進学時において選択肢も少なく、情報も少なく不安だという声を私も地域で聞いているため、大阪府や神奈川県で行われている高校時におけるインクルーシブ教育について、周知や理解を進めたいと、議員就任より市教委、県教委、各学校の先生方、複数の県議会議員などに随時説明を行ってきた。大塚愛岡山県議会議員は他からも様々な声を聞き、今回のアンケート調査に至った。今後、県内において高校時におけるインクルーシブ教育が進んだ際に、まずは高校受験において必要となってくる義務教育段階における合理的配慮実践が市内で浸透し、子どもたちがより良い義務教育環境で学ぶことができるよう今後も取り組む。
添付書類	アンケート調査資料 配慮(支援)が必要な子どもの高校進学についてのアンケート